

<参考> 地方公営企業における施設の見える化について

地方公営企業施設に関して、維持修繕コストの現状及び将来コストを示すと次のとおりです。

今後、水道施設等について更新需要の増大が見込まれています。このため、企業庁では、経営計画に基づき、施設の統廃合や長寿命化などの対応を図りながら、独立採算のもとで、計画的な更新を行うこととしています。

1 維持修繕コスト算定に係る与件

(1) 水道

対象施設	神奈川県営水道事業施設		
基本情報等の出典	固定資産台帳等	時 点	平成24年3月31日
維持修繕コストの内容	修繕費及び施設等更新費		
現状（実績）の算定方法	神奈川県営水道事業施設の維持管理及び更新に係る費用の合計。		
将来推計の算定方法	<p>【修繕費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去3ヵ年間の平均額が平成25年度以降も同額がかかるものとして算出。 <p>【施設等更新費】</p> <p>(建物等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新サイクルについて、庁舎等長寿命化対象施設を60年、車庫及び倉庫等を40年とし、建替単価（庁舎等30万円/m²、車庫等20万円/m²、自転車置場等10万円/m²）に各施設の床面積を乗じて算出。 <p>(配水池等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新サイクルについて、配水池を75年、ポンプ所等を60年、電気及び機械設備を20年～25年とし、取得時の費用を現在の価格に置き換えて算出。 <p>(水道管)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新サイクルについて、50年～70年とし、水道管の口径毎に近年の実績を基に算出。 		

(2) 電気

対象施設	神奈川県営電気事業施設		
基本情報等の出典	固定資産台帳等	時 点	平成24年3月31日
維持修繕コストの内容	修繕費及び施設等更新費		
現状（実績）の算定方法	神奈川県営電気事業施設の維持管理及び更新に係る費用の合計。		
将来推計の算定方法	<p>【修繕費等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 過去3カ年間の平均額が平成25年度以降も同額がかかるものとして算出。 <p>【施設等更新費】</p> <p>(建物等)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 更新サイクルについて、庁舎等長寿命化対象施設を60年、車庫及び倉庫等を40年とし、建替単価（庁舎等30万円/m²、車庫等20万円/m²）に各施設の床面積を乗じて算出。 <p>(発電設備)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 更新サイクルについて、水力設備を40～70年、電気設備を60年、付帯設備を25～30年として算出。		

2 維持修繕コストの現状と将来推計

(1) 維持修繕コストの現状

公営企業施設にかかる維持修繕コストの実績（直近3カ年）

施設区分	基本情報		維持修繕コスト実績(百万円)					
	箇所数	規模	平成22年度	平成23年度	平成24年度	3年合計	3ヵ年平均	構成比
水道	給水区域 12市6町	給水人口 2,789千人 管路延長 9,058km	17,010	17,711	16,472	51,193	17,064	84.3%
電気	発電所数 13発電所	発電出力 約35万kW	3,495	2,893	3,153	9,541	3,180	15.7%
計			20,505	20,604	19,625	60,734	20,244	100%

(2) 維持修繕コストの将来推計

公営企業施設にかかる維持修繕コストの将来推計

施設区分	維持修繕コスト推計(百万円)							30年合計	構成比
	H25~H29	H30~H34	H35~H39	H40~H44	H45~H49	H50~H54			
水道	113,691	104,725	101,020	104,866	95,410	111,590	631,302	80.6%	
電気	22,507	36,581	26,988	21,677	21,734	22,133	151,620	19.4%	
計	136,198	141,306	128,008	126,543	117,144	133,723	782,922	100%	